

## 産業文教常任委員長報告

審査日	令和5年9月8日～14日				
出席委員	中村 美穂	堀 真	松林 敏	浦川 圭一	安部 都
	山口 憲一郎	竹中 悟			
説明員	関係所管管理職並びに職員				
	安部 都紹介議員				

### 議案第48号 令和5年度長与町一般会計補正予算（第4号）

#### 【提案理由・主な内容】

建設産業部、土木管理課では、歳入は町道3工区10号線において、道路および河川護岸に亀裂が発生したことから補修工事の財源として起債の借り入れを行うもの。歳出では道路と河川護岸の一体的な工事が必要なため、県が施工主となり補修工事を行い、町は道路工事に係る費用を負担金として支出する。街路事業費では、町道西高田線の新設区間において、道路のり面に変状が確認されたため、地質調査に係る測量設計委託料の他、仮設防護柵の設置工事費を計上。

教育委員会、学校教育課では、歳入で町内企業より受けた寄付金を地域スポーツ活動の振興に活用するため中学校費寄附金に計上。歳出の中学校教育振興費の、バドミントンのシャトルやソフトテニスのボールなどの消耗品費、弓道の弓といった備品購入費に充当する。

生涯学習課では、歳出において、文化施設管理費の修繕料で文化ホールの非常灯照明器具の取換費用、保健体育総務費では5年度優良団体表彰受賞の表彰式展参加旅費2人分、体育施設管理費の工事請負費ではテニス広場にある腐食して現在使用していない街路灯の撤去費用を計上。

以上の説明があった。

#### 【主な質疑】

建設産業部

（土木管理課）

質疑：河川護岸の工事は長与川の取水口に近い場所だが、今年度中に終わるのか。

答弁：長与川は飲み水として、また斉藤では農業用水としての利用もあるため、河川の水位を下げずに施工する工法を県が採用し施工。今年度中に完了する予定。

質疑：2年程前には三彩橋から斉藤に行く護岸の亀裂があった。この一帯を調査する必要はないのか。

答弁：今回調査した結果に基づいて必要な範囲を地盤改良する。全体的な地盤調査などは今後県とも協議したいと考える。

教育委員会

（学校教育課）

質疑：この寄付金は1社からのものか。

答弁：1社である。

質疑：消耗品で購入する内容は。全ての中学校で使用するのか。

答弁：バドミントンのシャトル20本、ソフトテニスボール練習球240個などを購入する予定。地域スポーツ活動は3つの中学校が集まって活動しているので全ての中学校の生徒が使用する。

（生涯学習課）

質疑：文化ホールの照明は定期的に変えているのか。

答弁：今回の計上分は非常灯の設備を取り換えるものである。

以上のような質疑が行われ、全会一致で可決すべきものと決した。

議案第52号 令和4年度長与町一般会計歳入歳出決算の認定について

【提案理由・主な内容】

建設産業部、産業振興課では、歳入は、地方譲与税の森林環境譲与税、国庫支出金の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち1億8,310万909円、県支出金農業費負担金の、中山間地域等直接支払交付金および多面的機能支払交付金など。農道等事業債は、県事業で行っている藤の棟ため池の堤体補強工事に係る農村地域防災減災事業負担金に対する起債。歳出は、税務総務費のふるさと長与応援寄附金の経費。4年度のふるさと納税の受付件数は6,562件、寄付額1億4,786万3,000円。その他、労働諸費の長与・時津シルバー人材センターへの運営補助金。農業振興費の各土地改良区の配水施設の管理補助金、商工振興費の長与町プレミアム商品券発行事業補助金など。

土木管理課は、歳入では、使用料及び手数料は各施設使用料。土木費国庫補助金は道路橋りょう費補助金の町道長与中央線の舗装補修工事の補助金など。災害復旧費国庫負担金は公共土木施設災害復旧費負担金。土木債は急傾斜地管理事業債など6件。歳出では、土木総務費は県事業の国道207号道路改良事業に伴う地元負担金。道路維持費は町道管理委託料で街路樹の剪定及び除草委託など67件、町道維持補修委託料で長与・時津シルバー人材センターへの委託を含め5件。橋りょう維持費は町道嬉里線三彩橋補修工事。街路事業費は都市計画道路西高田線街路整備事業に伴う測量業務など9件や工事14件。その他、公園緑地管理費で町内の公園等の清掃や維持管理業務に係る委託など。

都市計画課では、歳入の土木管理費分担金は急傾斜地崩壊対策事業分担金、住宅使用料および町営住宅駐車場使用料は東高田・西高田・岡岬の町営住宅3カ所分。土木

費国庫補助金の住宅費補助金のうち公営住宅等ストック総合改善事業補助金は、東高田B棟、C棟の長寿命化改修工事および工事管理業務に対する補助金。地方債は2件。歳出では、下水道処理費の負担金、補助及び交付金のうち1,528万1,200円が高田南土地区画整理地区内の長崎市下水道区域の工事に対する事業負担金。建築費の住宅性能向上リフォーム支援補助金が5件で50万円、親子でスマイル住宅支援補助金が4件で160万円。

教育委員会の教育総務課と学校教育課は一括して説明を受けた。歳入の主なものは、教育費国庫補助金の小学校費、中学校費の公立学校情報機器整備費補助金は、G I G Aスクール運営支援センター整備委託に充当。ふるさと長与応援寄附金は「教育の充実や生涯学習を推進」分の2,182万7,000円を学校施設保守清掃委託などに、「町長おまかせコース」分1,605万8,000円を長与小学校電動式移動観覧席経年劣化補修工事などに充当。企業版ふるさと納税寄附金については、学校のアクセスポイントの増設、iPad購入などのICT教育環境整備に充当。歳出では、教育委員会費は教育相談指導員や外国語指導助手の報酬。事務局費の各種大会参加補助金は、交通費・宿泊費を補助しており、町内の中学校に対し県大会22件、九州大会9件、全国大会1件の計32件分。町立小中学校給食費支援事業費補助金は、新型コロナウイルス感染症等の影響で高騰した児童生徒の給食費に対する補助金。その他、小中学校管理費や学校給食費など。

生涯学習課では、歳入は、各施設の使用料の他、教育費委託金の社会教育費委託金は市町村権限移譲等交付金で、史跡は県指定文化財の五輪の塔の管理に対する委託金、立入調査は有害図書などの立ち入り調査を年2回実施している委託金。ふるさと長与応援寄附金は2,383万6,000円を、勤労青少年ホーム管理経費や青少年健全育成事業、社会教育事業、図書館事業、保健体育事業に充当。雑入の広告掲載料のうち10万1,400円は、15社27誌の図書館設置雑誌のスポンサーとしての受け入れ分。歳出は、多目的研修集会施設管理費では車止め修繕工事など合計8件、多目的研修集会施設屋根防水工事の設計業務委託。公民館費の修繕料は、長与町公民館大ホール床補修や上長与体育館玄関床補修など合計15件分。文化振興費では、自主事業謝礼や長与三彩窯跡地内居宅解体工事に係る設計管理委託料と工事費。その他体育施設管理費など。

農業委員会では、歳入は、農業委員会交付金、農地利用最適化交付金、農地集積・集約化対策費補助金、農地集積・集約化等対策地方公共団体事業費補助金。歳出は、農業委員会委員および農地利用最適化推進委員の報酬や、タブレット7台購入とインターネット接続料、農家台帳システムの保守委託。

以上の説明があった。

【主な質疑】

建設産業部

（産業振興課）

質疑：シルバー人材センターの会員数は減少しているのではないかと。

答弁：会員数は減少傾向で、定年延長の影響が考えられる。

質疑：プレミアム付き商品券は500円券を発行する検討はしなかったのか。

答弁：発券量が倍になることによるコスト面と、換金作業等の事務量を検討し、1,000円券の発行となった。

（土木管理課）

質疑：公園剪定等委託料で何箇所くらい実施しているのか。

答弁：3年度から自治会等に10団体委託している。それ以外に高木や斜面地の剪定を11件実施している。

質疑：都市計画道路西高田線の進捗率と何年に完成する予定なのか。

答弁：事業費ベースは86%、道路延長ベースは48%、用地取得率は85%、建物移転補償率は94%。事業は8年度完了予定である。

（都市計画課）

質疑：急傾斜地崩壊対策事業分担金の積算根拠は。

答弁：町分担金条例が4年4月に改定され、分担金は事業費の総額の5%相当額または75万円に工事施工延長につき1万円を加算した額のいずれか低い方となる。4年度は事業費1,100万円の5%を徴収し、施工延長決定後5年度に差し引き分を徴収する予定。

質疑：東高田町営住宅は建設から何年経過していて、長寿命化工事はどのような工事をしたのか。

答弁：B棟とC棟は建設年度が平成元年度と2年度で30年以上経っているが、外壁の塗装等をやり替えていなかったことにより、長寿命化計画に基づき外壁の改修工事を行った。

教育委員会

（教育総務課・学校教育課）

質疑：給食費管理システム導入委託料の内容は。

答弁：5年度から公会計に移行しているが、その準備として基幹システムにサービスを一つ追加し学校給食費の台帳を作成した。

質疑：外国語指導助手はどこから来ているのか。姉妹都市のウェザーフィールドからも優先的に来ているのか。

答弁：イギリス1名、アイルランド1名、アメリカコネチカット州から1名来ている。

（生涯学習課）

質疑：自主事業謝礼でそれぞれの集客数と謝礼金額は。

答弁：集客数はトークショー付き特別上映会346名、月亭方正独演会293名、平和コンサート253名。謝礼金額はトークショー付き特別上映会160万円、月亭方正独演会220万円、それ以外が平和コンサートに係るもの。

質疑：スポーツ施設予約管理システムが導入されたが、利便性は高まったのか。

答弁：システムでの入力が約8割、窓口が約2割で成果は上がっていると思う。

（農業委員会）

質疑：タブレットを7台購入しているが、活用方法は。

答弁：農業委員会サポートシステムという国のシステムに農地の情報を登録し、それを基に農地の地図を見ることができ、毎月の総会の案件の場所確認と、農地利用状況調査の際に、場所の特定などで活用している。

以上のような質疑が行われ全会一致で認定すべきものと決した。

議案第57号 令和4年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【提案理由・主な内容】

歳入では、収入済額24億2,617万2,453円、翌年度への繰越事業費となる収入未済額は1億8,242万6,600円。歳出では、支出済額12億2,344万7,739円、翌年度への繰越明許費は6億6,563万5,000円。

高田南土地区画整理事業に係る4年度の事業実績は、本工事費8件、10億5,906万1,000円、補償費3件3,110万1,000円、測量試験費14件、7,995万8,000円、負担金2件、2,123万2,000円、その他1件、1,196万9,000円。事業進捗率は道路築造65.0%、宅地造成73.3%。

以上の説明があった。

【主な質疑】

質疑：保留地処分金の内容は。

答弁：106街区の引き渡しに伴う契約残金と、3工区の宅地12件および付け保留地1件など。

質疑：12宅地の坪単価はいくらか。今後の保留地販売に対する考え方は。

答弁：平均の坪単価は約42万円。今後も一般競争入札方式で実施したい。

質疑：6年度末で工事は終了するのか。

答弁：造成工事自体は7年3月末に終わるように進んでいる。

以上のような質疑が行われ、全会一致で認定すべきものと決した。

## 議案第58号 令和4年度長与町水道事業剰余金の処分及び決算認定について

### 【提案理由・主な内容】

収益的収入及び支出の収入では、決算額8億650万3,392円。支出では、決算額6億7,623万4,511円。資本的収入及び支出の収入では、決算額1億9,147万2,200円。支出では決算額2億9,850万3,703円。資本的収入額が資本的支出額に不足する額1億703万1,503円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,856万2,154円、過年度分損益勘定留保資金8,846万9,349円で補填。当年度純利益は1億1,145万5,990円、当年度未処分利益剰余金は当年度純利益と同額の1億1,145万5,990円。当年度未処分利益剰余金は全額建設改良積立金に積み立てる。

以上の説明があった。

### 【主な質疑】

質疑：給水人口や水量も減少してきているが、対策は。

答弁：経営効率をさらに上げていき、広域化や官民連携などで経営基盤の強化を行っていく。

質疑：漏水調査は年次的にやっていると思うが現状はどうか。

答弁：年間を通じて、町内管路の約150キロメートルを調査員が回り、音の調査、水圧試験の水圧チェック、電気による調査などで漏水箇所の調査を行っている。

質疑：配水管の耐用年数と耐用年数を超えた管はどれくらいあるのか。

答弁：基本的な耐用年数は40年で、40年を超えた管路経年化率は26.83%だが、すぐに駄目になるわけではないので、漏水調査等の結果を踏まえながら更新などをしていく。

主な質疑は以上のとおり。剰余金の処分については全会一致で可決すべきもの、決算認定については全会一致で認定すべきものと決した。

## 議案第59号 令和4年度長与町下水道事業剰余金の処分及び決算認定について

### 【提案理由・主な内容】

収益的収入及び支出の収入では、決算額10億465万968円。支出では、決算額8億9,782万284円。資本的収入及び支出の収入では、決算額2億2,514万3,140円。支出では、決算額が5億5,776万8,225円。資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億3,262万5,085円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,919万8,667円、過年度分損益勘定留保資金3億1,342万6,418円で補填。当年度純利益は8,763万2,017円、当年度未処分利益剰余金は当年度純利益と同額の8,763万2,017円。当年度未処分利益剰余金

は全額減債積立金に積み立てる。

以上の説明があった。

#### 【主な質疑】

質疑：有収率の改善が図られているようだが、その理由は何か。

答弁：下水道管路調査等毎年対策を取っているが、雨水の影響が大きい。3年度は降水量が多く4年度は少なかったため処理水量が減ったことが要因と考える。

質疑：下水管の耐用年数と耐用年数を経過した管はどれくらいあるのか。

答弁：耐用年数は50年、管渠老朽化率は0%で50年経過したものはない。

質疑：デザインマンホールは何か所設置して費用は通常のものと同程度くらい違うのか。

答弁：5か所設置で、材料費は1枚当たり、通常のが約6万5,000円、デザインマンホールが約15万円だが、QRコードなど遊び心のある仕組みも整えており、下水道の啓発活動を続けていきたい。

主な質疑は以上のとおり。剰余金の処分については全会一致で可決すべきもの、決算認定については全会一致で認定すべきものと決した。

#### 請願第1号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願

#### 【請願項目】

子どもたちのゆたかな教育環境をつくるための「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書」を採択し、地方自治法第99条の規定により関係大臣に意見書を提出するよう要請する。

以上の説明があった。

#### 【主な質疑】

質疑：請願書に2023年度政府予算編成と記載があるが年度は正しいのか。

答弁：2023年度のうちの予算編成を審議する中で働きかけをしてもらうために出されている。

質疑：35人学級の実現とあるが、教職員が不足している現状で確保できるのか。

答弁：人数を増やすために、義務教育費国庫負担制度を2分の1に復元することを要望している。

質疑：長与町は部活動改革も先進的に行っておりスポーツ庁からも予算がついている。取り組みを進めている本町において、あえて町議会として意見書を出す必要があるのか。

答弁：長与町の事だけでなく、全国的な教職員の定数改善をはかるための請願である。

以上のような質疑が行われ賛成少数で不採択すべきものと決した。